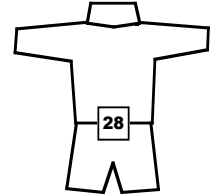


コミュニケ No.7-1  
大会チーフコミッサー

## 競技に関する注意事項

## 1 小中学生・マスターズ・ハンドサイクル タイムトライアル

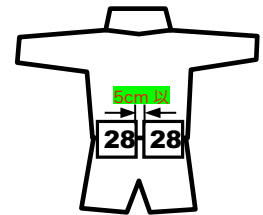
- ・ゼッケンを右図のように背面中央下部に一枚付けて出場してください。
- ・出走する選手はヘルメットを着用してください。
- ・ハンドサイクルで背中面が見えなくなるポジションの方は、背面から見える位置に車体に取り付けて下さい。



## 2 男女クリテリウム

- ・フレームプレートをフレーム前部中央につけることを原則とします。もし中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せてください。  
また、どうしてもフレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めますが、臀部・脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定してください。
- ・ゼッケンは右図のように取り付けてください。
- ・ゼッケン、フレームプレート取付用の安全ピン、結束バンドは各自で用意してください。

コミュニケ NO.3-2



## 3 出走サイン、バイクチェック

- ・コースへの出入りはS/F(スタート・フィニッシュ)地点手前の横断歩道脇からのみ出入り可能です。
- ・ゼッケンを装着した選手、IDカードを付けた者のみがコースに立ち入ることができます。
- ・出走する服装でゼッケンをつけ、自転車とヘルメットを持参してください。
- ・ヘルメットはJCF公認のヘルメットを着用してください。
- ・自転車等、使用器材は自己の責任において、安全で規則に適合したものをご使用ください。
- ・クリテリウムで所謂ノンスタンダードホイール(リム高さ25MM以上もしくはスポーク数16本未満)を使用する場合、UCI試験適合製品のみが使用可能ですので、注意してください。
- ・本大会を含む全日本学生ロードレースカップシリーズにおいては、公道上を走行可能な装備でレースに参加いただくこととしております。ヘル、後方反射テープも必須となります。予めご用意ください。
- ・各本大会において、スタート前のバイクチェックはセルフチェックのみとします。これは義務ではありません。
- ・レース後、上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行います。違反が認められた場合、失格を含めたペナルティが課される場合があります。

## 4 レース終了について

- ・集団より遅れるなどして失格となった選手は、順走にてS/F地点手前の横断歩道脇からコース外に出てください。
- ・ゴールした選手はレース方向順走にてS/F地点手前の横断歩道脇にゴール後1周回以内に入ってください。

## 5 機材交換について

- ・機材交換は、S/F地点及び銀杏通Uターン部の機材ピットにおいてのみ認められます。
- ・チームの器材を置くことが可能です。主催者による共通機材の用意はありません。
- ・ピットゾーンへはIDカードをつけている人のみ入り機材修理を行うことができます。  
IDカードは大学チーム各校3枚、他のカテゴリは選手1人につきIDカードを1枚配布します。
- ・ニュートラリゼーションの適用については大会特別規則をご参照ください。

NICHINAO

IRC TIRE  
Inoue Rubber Co., Ltd.Innovation & Action  
INDOAC

DE ROSA

CYCLOCHANNEL

CYCLES-YOKOO

Gibraltar  
ジブラルタ生命

PEARL IZUMI

DALSIMA

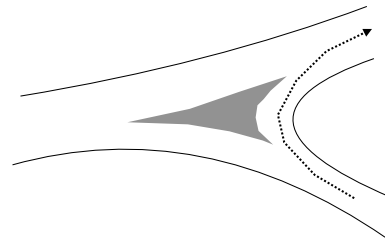
Kabuto



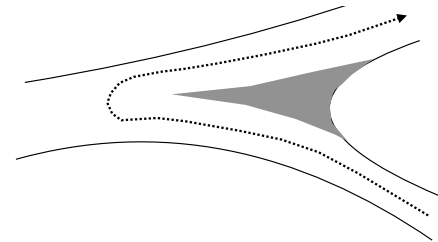
## 6 コース形状について

- ・プログラムマップ上の地点6の最終コーナー近辺は、隣接する国立競技場の工事に関連してコース形状が2020年より変更となりました。以前より鋭角コーナーになっています。ウォームアップライド中にコース全般について注意深く現場を確認し、事故のないように充分ご注意ください。

### 地点6 2019年以前



### 地点6 2020年以降



## 7 映像

- ・本大会における肖像権は主催者に帰属する。
- ・オンボードカメラの使用は認める。主催者から画像データ提供依頼があった場合には応ずること。
- ・主催者からオンボードカメラの装着依頼があった場合は応ずること。

以上